

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会
平成 27 年度第 1 回がんの地域連携クリティカルパス部会議事録

日時：平成 28 年 1 月 28 日（木）15：00～

平成 27 年度の第 1 回がんの地域連携パス部会が、平成 28 年 1 月 28 日に兵庫県学校厚生会館で開催された。兵庫県内のがん診療連携拠点病院と、準ずる病院を含め 47 病院のパス部会委員、パス WG 委員と兵庫県医師会代表者、ひょうごがん患者連絡会、兵庫県担当者が参加した。開会にあたり足立協議会議長（兵庫県立がんセンター院長）、兵庫県医師会豊田常任理事から挨拶をいただいた。

議事に入る前に、パス策定後 5 年経過したための見直しを検討すること、パスの状況についての各施設より事前アンケート（平成 27 年 3 月末）報告、平成 26 年度がんパス部会・平成 27 年度第 1 回幹事会・議事録の確認があった。

【議事】

(1) がんの地域連携パスについて

① 総説部

統一版がんパスの作成運用の経緯、確認事項、全体に共通する意見、そして今後に向けての提案が示された。

② 胃がん

胃がん全体としては治療ガイドライン（2014 年）を基に改定した草案を作成。ESD について、不要な検査をなくし簡素化していくことが望ましい。

③ 大腸がん

大幅な変更の必要はないが、取扱い規約の変更による変更と、内容はそのまま、説明部分と情報記載部分を分ける、連携計画書を色分けする等。患者会より大腸内視鏡パスの作成依頼があった。

④ 肝がん

肝がんは背景に肝炎、肝硬変があること、および多発傾向があることから、パス適応となる患者が少ない。パスの簡略化を目的に、肝炎治療ガイドラインを基に改定版を作成。

⑤ 肺がん

パス普及の進まない現状分析があった。パスの簡略化や新規パス（薬物療法など）作成の検討についての意見があった。

⑥ 乳がん

簡略化という考え方。2015 年診療ガイドラインで術後ホルモン療法の変更に伴い追加する内容が発生する。パス内容改修の提案として特に、一か月ごとの自己触診を行った記録の追加。

⑦ 前立腺がん

初回作成時から改訂されていない、また導入が外来でのことが多いなどの点を踏まえて今後、簡略化の方向で考えていく。PSA 監視療法について患者会より質問あり。パスに組み込むには一般的ではない。

⑧ 子宮体がん

参加症例も少なく、特に変更なし。

⑨ 緩和ケア

緩和パスは現在作成されていないが「緩和連携に必要な基本的事項（案）」は緩和連携パス WG で了解され、兵庫県がん診療連携協議会の HP にも掲載済み。がんセンターでの地域連携パスの取り組みを発表。

総合討論

・ 県立がんセンターの取り組み

院内の運用件数や運用フロー図、実際にやりとりする様式が示された。

パス担当専任の業務分担がパス連携の推進の大きな要因と考えられる。スムーズな連携医療機関とのやりとりのため、独自に説明文書を作成。

・ がんセンターの院内運用を踏まえて、それぞれ自院での運用方法を任意で発表。質疑応答。

(2) その他

・ 今回の会議を踏まえて各パスを目に見える形で修正する。各 WG 幹事には次回 2/25 幹事会で改訂版最終案をご報告いただく。幹事会で確認をして 28 年度はそれで運用していきたい。

・ 大幅な変更があれば 7/1 に近畿厚生局へ届け出る。

以上